

市議会だより

69



～「いなかわキッズ」オープン～

4月1日、稲川小学校の開校に併せ、稲川地域の放課後児童クラブを統合した「稲川児童クラブ」の開所式が行われました。

当日は、利用する児童80人が参加。愛称「いなかわキッズ」の命名者に佐藤市長から記念品が贈られたほか、統合を記念して子どもたちが制作した、桜を模したアート作品のお披露目、お菓子まきなどを行ってオープンを祝いました。

第1回定例会

定例会概要・令和4年度予算概要	…P.2・3
議決結果一覧表	…P.4・5
討論・賛否一覧表	…P.6
令和3年度補正予算概要・関係私企業	…P.7
代表質問	…P.8～11
一般質問・2月臨時会	…P.12～16
市長への緊急要望・ロシア非難決議	…P.17
総括質疑	…P.18・19
産業建設常任委員会・市長要望	…P.20
教育民生常任委員会・施設見学	…P.21
議会からのお知らせ	…P.22・23
議会のうごき ほか	…P.24

 ちいき本棚

スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。

 マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



令和4年

第1回 定例会



2月24日から3月18日までの23日間の会期で第1回定例会が行われました。本定例会では、令和4年度当初予算を中心に条例の一部改正・廃止、指定管理者の指定および令和4年度補正予算など、当局議案44件、議会議案3件、陳情9件について審議しました。

3月2日の代表質問では3会派から3人の議員が、また、3、4日の一般質問では7人の議員が市政全般についてたどしました。



条例の一部改正

●湯沢市職員の育児休業等に関する条例
非常勤職員の育児休業などの取得要件を緩和するとともに、育児休業を取得しやすい勤務環境の整備を図るため、所要の改正を行うもの

●湯沢市文化交流センター条例
コミュニティセンター機能の再編を行うため、所要の改正を行うもの

●湯沢市健康ドーム条例

●湯沢市B&G海洋センター条例

●湯沢市体育館条例
指定管理者制度の導入に必要な規定を追加するもの

●湯沢市国民健康保険税条例
地方税法などの一部改正に伴い、所要の改正を行うほか、規定の整理を行うもの

●湯沢市ふるさとふれあいセンター条例
岩崎コミュニティセンターを湯沢市ふるさとふれあいセンターに統合するため、所要の改正を行うもの

●湯沢市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
消防団員の報酬の見直しのほか、規定の整理を行うもの



条例の廃止

●湯沢市臨時診療所条例
新型コロナウイルス感染症の検査体制が整備されたため、廃止するもの

●湯沢市老人憩の家条例

●湯沢市立稲川健康管理センター条例

●湯沢市健康増進施設条例

●湯沢市皆瀬休養施設条例

●皆瀬更生園就労体験施設条例
湯沢市公共施設再編計画に基づき廃止するもの



指定管理者の指定

●湯沢市リフレッシュ交流センター「ほっと館」
指定先／湯沢市雄勝観光協会



市道の廃止

●廃止する路線名
・立石前線（橋梁の撤去に伴い、路線を廃止するもの）



権利の放棄

●回収が不可能な個人に対する債権（水道料金）を放棄するもの



工事請負契約の締結

●湯沢市皆瀬庁舎建設工事（建築）
・契約金額 8億3586万8千円

・契約相手 株式会社三友建築所

●湯沢市皆瀬庁舎建設工事（電気設備）
・契約金額 2億1296万円

・契約相手 株式会社近江電設

●湯沢市皆瀬庁舎建設工事（機械設備）
・契約金額 1億9855万円

・契約相手 岩野設備工業株式会社

令和4年度

各会計予算を可決

一般会計 285億3,906万9千円 (対前年度比 4.3%増 ※第1号補正を含む)

特別会計 118億 198万1千円 (対前年度比 2.0%増)

◆ 主な事業 ◆

【新規】

- ▽デジタル推進事業 (情報政策課) 7,383万3千円
- ▽地域づくりモデル事業 (まちづくり協働課) 184万4千円
- ▽重層的支援体制整備事業 (福祉保健部) 6,971万円
- ▽魅力あふれる湯沢PR推進事業 (観光・ジオパーク推進課) 1,320万円
- ▽クーポン券発行団体等支援事業 (商工課) 1億円
- ▽次期作営農継続支援事業 (農林課) 9,224万5千円
- ▽地球温暖化対策事業 (くらしの相談課) 5,381万6千円
- ▽克雪住宅推進事業 (都市計画課) 600万円

- ▽飲食 店緊急支援金給付事業 (商工課) 5,006万9千円 **【第1号補正】**

【拡充】

- ▽未来投資型人材育成事業 (まちづくり協働課) 973万8千円
- ▽官民連携推進費 (まちづくり協働課) 281万9千円
- ▽地域医療確保対策事業 (健康対策課) 1億7,732万円
- ▽結婚サポート事業 (まちづくり協働課) 581万5千円
- ▽とことん山キャンプ場管理運営費 (観光・ジオパーク推進課) 1億30万3千円
- ▽学校用パソコン更新事業 (学校教育課) 6,993万9千円
- ▽湯沢駅周辺複合施設等整備事業 (企画課) 2,996万4千円

【継続】

- ▽新型コロナウイルスワクチン接種事業 (健康対策課) 1億650万9千円
- ▽中学校エアコン整備事業 (教育総務課) 2億3,518万4千円
- ▽体育施設改修等事業 (生涯学習課) 1億8,382万2千円
- ▽スポーツイベント開催事業 (生涯学習課) 54万3千円
- ▽新皆瀬庁舎整備事業 (財政課) 9億6,119万6千円
- ▽道の駅おがち「小町の郷」周辺整備事業 (建設課) 2,100万円

《各会計予算》

会計名		本年度予算額
一	一般会計	285億3,906万9千円
特別会計	国民健康保険	48億8,587万2千円
	後期高齢者医療	6億2,766万2千円
	介護保険	55億6,884万円
	養護老人ホーム愛宕荘	2億5,257万1千円
	皆瀬更生園	3億8,523万6千円
	湯沢財産区	2,689万5千円
	院内財産区	3,818万3千円
水道事業	秋ノ宮財産区	1,672万2千円
	収益的収入	12億7,008万5千円
	収益的支出	12億279万5千円
	資本的収入	4億507万6千円
	資本的支出	8億940万2千円
下水道事業	収益的収入	16億3,161万3千円
	収益的支出	15億8,713万3千円
	資本的収入	4億5,394万円
	資本的支出	9億3,650万6千円

令和4年 第1回定例会 議決結果一覧表

※は賛否が分かれたもの

○提出議案(47件)／2月24日、3月18日上程 2月28日、3月18日議決

▼付託省略（3件）

番 号	件 名	議決結果
議会議案第1号	湯沢市議会基本条例の一部改正について	原案可決
議会議案第2号	湯沢市議会会議規則の一部改正について	原案可決
議会議案第3号	湯沢市議会委員会条例の一部改正について	原案可決

▼総務財政常任委員会 審査（6件）

番 号	件 名	議決結果
議案第8号	湯沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	湯沢市ふるさとふれあいセンター条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	湯沢市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	工事請負契約の締結について（湯沢市皆瀬庁舎建設工事（建築））	原案可決
議案第42号	工事請負契約の締結について（湯沢市皆瀬庁舎建設工事（電気設備））	原案可決
議案第43号	工事請負契約の締結について（湯沢市皆瀬庁舎建設工事（機械設備））	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査（9件）

番 号	件 名	議決結果
議案第2号	湯沢市老人憩の家条例の廃止について	原案可決
議案第3号	湯沢市立稲川健康管理センター条例の廃止について	原案可決
議案第4号	湯沢市臨時診療所条例の廃止について	原案可決
議案第7号	皆瀬更生園就労体験施設条例の廃止について	原案可決
議案第9号	湯沢市文化交流センター条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	湯沢市健康ドーム条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	湯沢市B&G海洋センター条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	湯沢市体育館条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	湯沢市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（5件）

番 号	件 名	議決結果
議案第5号	湯沢市健康増進施設条例の廃止について	原案可決
議案第6号	湯沢市皆瀬休養施設条例の廃止について	原案可決
議案第16号	指定管理者の指定について（湯沢市リフレッシュ交流センター「ほっと館」）	原案可決
議案第17号	市道の廃止について	原案可決
議案第18号	権利の放棄について（水道料金）	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（24件）

番 号	件 名	議決結果
議案第19号	令和3年度湯沢市一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議案第20号	令和3年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第21号	令和3年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	原案可決

※は賛否が分かれたもの

番 号	件 名	議決結果
議案第22号	令和3年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第23号	令和3年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第24号	令和3年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第25号	令和3年度湯沢市湯沢財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第26号	令和3年度湯沢市院内財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第27号	令和3年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第28号	令和3年度湯沢市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第29号	令和3年度湯沢市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第30号	令和4年度湯沢市一般会計予算	原案可決
議案第31号	令和4年度湯沢市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第32号	令和4年度湯沢市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和4年度湯沢市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和4年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和4年度湯沢市皆瀬更生園特別会計予算	原案可決
議案第36号	令和4年度湯沢市湯沢財産区特別会計予算	原案可決
議案第37号	令和4年度湯沢市院内財産区特別会計予算	原案可決
議案第38号	令和4年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計予算	原案可決
議案第39号	令和4年度湯沢市水道事業会計予算	原案可決
議案第40号	令和4年度湯沢市下水道事業会計予算	原案可決
議案第44号	令和3年度湯沢市一般会計補正予算（第12号）	原案可決
議案第45号	令和4年度湯沢市一般会計補正予算（第1号）	原案可決

○陳情（9件）

▼総務財政常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第6号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書	不採択 ※

▼教育民生常任委員会 審査（3件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第4号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情	採 択
陳情第5号	介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情	不採択 ※
陳情第10号	稲川小学校への安全・安心な通学環境整備に関する陳情書	不採択 ※

▼産業建設常任委員会 審査（5件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第1号	「岩崎地内通勤車両による交通渋滞解消について」の陳情書	採 択
陳情第7号	生活道の整備・改良に関する陳情書	継続審査
陳情第8号	「最低賃金の改善を求める」陳情書	継続審査
陳情第9号	最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める」陳情書	継続審査
陳情第11号	飲食店に対する事業継続への緊急的な支援を求める陳情書	採 択

○決議案(1件)

番 号	件 名	議決結果
決議案第1号	ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議	原案可決

○意見書案(1件)

番 号	件 名	議決結果
意見書案第1号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守ることを国に求める意見書	原案可決

陳情に対して討論が行われました

陳情第10号 稲川小学校への安全・安心な通学環境整備に関する陳情書に対する討論の要旨

開校が迫るなか、統合に関係する各小学校への影響なども考慮する必要があり、これまで準備を進めてきた教育委員会や統合準備会の決定を尊重し、不採択とすべきものと考えます。

教育民生常任委員として、教育委員会、駒形小学校、PTA代表者、陳情者、それぞれの立場の方々からお話しを伺うとともに、危険と指摘される通学路の現地調査を行った。通学路や通学方法の決定に至るまでの過程は、しっかりとした手順を踏み、統合準備会や通学検討部会などにおいて、時間をかけて慎重に協議し、保護者と合意形成を図りながら決定されていた。また、最も危険と指摘されている十字路には、令和4年度中に横断歩道と歩行者用信号機が設置される予定となるなど、安全・安心な通学環境が徐々に整ってきていることを確認した。

開校以来146年続いた駒形小学校が統合のため閉校となり「稲川小学校」となることに伴い、安全で安心できる通学環境整備に関する、八面地区の保護者及び住民493名の署名が付いた八面部落総代からの陳情である。

佐藤 勝 議員

反対

このことから、令和4年4月の開校に当たっては、登下校の児童の安全・安心を図るためにスクールバス通学を最優先としていた、いただきたい。ご賛同をよろしくお願いたします。

八面地区から稲川小・中学校までは、市教育委員会が通学基準に定める2キロメートルから4キロメートルまでの範囲内にあり、中学生は年間を通してバスの通学支援を受けているが、同じ条件の小学生への通学支援は冬期間に限られている区域がある。また、新たな通学路には交通事故多発区間があり、途中にある交差点は、歩行者用の信号機や横断歩道、ガードレールもない危険な十字路である。この危険箇所を整備は、開校までは困難であるとの報告も受けている。

八面地区から稲川小・中学校までは、市教育委員会が通学基準に定める2キロメートルから4キロメートルまでの範囲内にあり、中学生は年間を通してバスの通学支援を受けているが、同じ条件の小学生への通学支援は冬期間に限られている区域がある。また、新たな通学路には交通事故多発区間があり、途中にある交差点は、歩行者用の信号機や横断歩道、ガードレールもない危険な十字路である。この危険箇所を整備は、開校までは困難であるとの報告も受けている。

沓澤 正雄 議員

賛成

賛否一覧表

採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。

議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会派名	湯 和 会 ・ 公 明								政 和 会						湯沢政策研究会		議決結果		
	1	2	9	10	11	12	17	18	7	8	13	14	15	16	5	6		3	4
議員名	兼子正寛	高橋健	柏原久寿	高橋肇	佐藤愛子	高橋達	渡部正明	佐藤功平	寺田純二	小田嶋秋一	加藤昭嗣	石川隆一	高橋克己	沓澤正雄	藤田健志	大山豪	宮原晃	佐藤勝	
陳情第5号	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第6号	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択
陳情第10号	×	×	×	×	×	×	△	×	×	退	×	退	退	○	×	×	×	×	不採択

※陳情第5号 介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情
 ※陳情第6号 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書
 ※陳情第10号 稲川小学校への安全・安心な通学環境整備に関する陳情書

令和3年度

一般会計 6億8,927万6千円の減額
 (補正後の予算総額は、306億5,826万5千円になります)

特別会計 7,728万3千円の増額
 (補正後の予算総額は、118億1,009万9千円になります)

◆ 補正予算の主な事業 ◆

《各会計補正予算》

会計名		今回補正予算額
一般会計		△6億8,927万6千円
特別会計	国民健康保険	1億3,800万8千円
	後期高齢者医療	△982万2千円
	介護保険	△5,206万2千円
	養護老人ホーム愛宕荘	586万4千円
	皆瀬更生園	△937万5千円
	湯沢財産区	384万円
	院内財産区	△77万3千円
	秋ノ宮財産区	160万3千円
会水道事業	収益的収入	131万2千円
	収益的支出	954万4千円
	資本的収入	△1,616万2千円
	資本的支出	0円
会下水道事業	収益的収入	△983万8千円
	収益的支出	△2,024万7千円
	資本的収入	△3,699万9千円
	資本的支出	△3,767万5千円

- ▽障害者等給付費 (福祉課) 4,871万9千円
実績見込みに伴う所要経費の追加および減額
- ▽繰出金 (国保、後期高齢) (財政課) 1,123万3千円
実績見込みに伴う所要経費の追加および減額
- ▽地籍調査事業 (財政課) 3,623万8千円
国の令和3年度第1次補正予算に対応した地籍調査業務経費および実績見込みに伴う所要経費
- ▽地区センター管理運営費 (協働事業推進課) 477万4千円
3月の排雪計画に基づき不足が見込まれる所要経費
- ▽冬期交通対策費 (建設課) 2億2,696万9千円
3月の排雪計画に基づき不足が見込まれる所要経費
- ▽教育委員会事務局総務費 (教育総務課) 2,451万3千円
3月の排雪計画に基づき不足が見込まれる所要経費

◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

令和3年11月1日から令和4年1月31日までに締結した議員関係私企業との30万円を超える請負契約などの状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

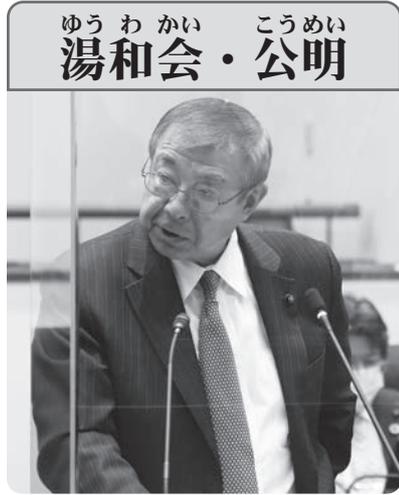
◆ 関係私企業との請負契約など (単件) ◆

〈関係する議員〉 藤田 健志 〈請負人の氏名〉 藤田魚屋 代表 藤田 健志

事業名	請負契約などの内容	請負契約などの金額	発注期日	納入期日など
養護老人ホーム愛宕荘運営事業	給食用食材購入	405,583円	令和3年12月	令和3年12月

代表質問

令和4年 第1回定例会 代表質問



湯和会・公明 議員 佐藤 功平

- ・令和4年度予算編成方針と財政運営について
- ・湯沢市経営戦略「地域経営マネジメント」について
- ・高齢化率40%を超えた本市における高齢者対策について
- ・公共施設等総合管理計画の推進について
- ・湯沢駅周辺複合施設整備基本計画について
- ・新たな森林管理システム推進事業について
- ・企業誘致対策事業について

湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。



質問 歳入において予算額に対して自主財源の割合が小さい状況の中で、市税増収を図る方策について伺う。

答弁 コロナ禍における地域経済の回復を下支えする消費喚起支援策に注力し、市税収入に結びつけることができるよう、各施策の推進に努める。ゆざわBizが行う地元企業支援策による経営基盤の維持向上、地熱発電所の建設に向けた支援など、本市の特色を生かした取り組みを通して、市税増収と自主財源の確保につながるよう取り組んでいく。

質問 歳出において、一般財源の大半を人件費、公債費、扶助費といった義務的経費に充てているが、その打開策について伺う。

答弁 人件費については、第4次定員管理計画に基づいた適正な定員管理を行い、扶助費については、単独で行う扶助事業も含めて効果検証を通じた事業の適正化を図り、公債費総額の削減などの取り組みを進めながら財政構造の改善に努めていく。

質問 湯沢市経営戦略、地域経営マネジメントの地域経営の仕組みづくりとは何かを伺う。

答弁 人口減少と高齢化の進行によって地域課題が複雑かつ多様化している中で、地域課題に対して積極的に取り組む必要がある。行政側から地域活動に対する財政的支援や活動場の確保支援などを行い、地域住民などが自主的に地域の特性を生かしたまちづくりができるような体制の整備を図る。

質問 人生100年時代を迎える中での健康寿命対策について伺う。

答弁 第2次湯沢市総合振興計画において、健康寿命の延伸を掲げ、心身が健康で活力あるま

ちの実現のため、介護予防事業や各種保健事業に取り組んでいく。生活習慣予防・フレイル対策・介護予防を一体的に実施し、高齢になっても元気に活躍できるように健康寿命の延伸を図っていく。

質問 社会参加と生きがいづくりを目指す高齢者と生涯学習センターの役割について伺う。

答弁 人生100年時代を迎え、市民一人一人が生涯にわたって目標や生きがいを持ち、地域課題の解決に取り組み、地域社会に参画しながら自分らしく豊かな人生を送ることはますます大切になっており、生涯学習センターはその活動の場である。高齢者の方々が、生涯現役で、地域で生き生きと活躍できるように、生きがいづくりや社会参加を支援していく。

質問 健康のための保養施設であるほっと館、緑風荘などの今後の在り方について伺う。

答弁 設置目的が市民の福祉と健康のための保養施設であり、いずれも年間3万人を超える利

代表質問

用者がいることから、今後も必要な施設として存続していきたいと考えている。

今後の管理運営方式については、施設の利用状況や運営状況を精査・分析し、一体的に検討していく。

質問 選挙における投票率の動向と高齢者対策を伺う。

答弁 高齢社会が進行する中で、高齢者の投票機会の確保や投票環境の向上は重要な課題と捉えており、投票手段の選択肢を広げながら今後も有権者の皆さまのご意見に耳を傾け、有権者一人一人に着目したさらなる投票機会の創出や利便性の向上に努めていく。

質問 公共施設等総合管理計画改定版の中で、計画期間や数値目標の変更があるが、主旨を伺う。

答弁 施設ごとの総合的な現状の分析をもとに、より具体的に個別施設の方向性を示した湯沢市公共施設再編計画との整合性を図る内容に変更しており、数値目標を令和12年までに公共施設

の延べ床面積を20%削減することとしている。

質問 湯沢駅周辺複合施設整備基本計画について、民間活力の導入により、にぎわい創出は図られるのか伺う。

答弁 民間収益施設を誘致する場合は、複合施設に導入する公共機能との相乗効果によって来館者の増加が見込まれ、にぎわいの創出につながると考えている。

質問 市民意見の反映として市民会議を継続するのかわかるか。

答弁 委員の任期は基本計画の策定までとなっているが、多様な観点から大変貴重な意見をいただいている。会議の継続を求める声が上がっていることを踏まえ、今後も継続する方向で調整している。

質問 森林経営意向調査の実施による動向などについて伺う。

答弁 対象となる皆瀬地域の森林所有者346人に意向調査を実施し、314人から回答があり、「所有者自身が管理する」が52%、「市に委託したい」が

35%となっている。

質問 市内において盗伐が疑われる事例が発生していると聞かれますが、その実態などについて伺う。

答弁 森林所有者からすでに提出されている届け出に関し疑義があると相談があり、確認のため森林所有者と林業事業者の双方から届け出の内容について事情聴取した事案があった。

所有している森林を伐採する場合は、森林法に基づく届け出が必要ことから、届け出に誤りがないか確認したが、届出書



類は必要な要件を満たしていません。

質問 誤伐ということなのか。

答弁 その判断はできない。所有者と事業者の言い分が違うので、どちらかの白黒をつけることは市の立場としてできない。

質問 雇用対策と企業誘致対策が一体となった事業展開を図るべきと思うが、考えを伺う。

答弁 地元出身者を中心とした市外在住の学生が就職を希望するような魅力のある企業を誘致することが重要であり、その成果が最大の雇用対策、ひいては地域づくりにもつながるものと考えている。市内への進出企業に関する情報収集を徹底し、雇用の拡大に効果的な企業の誘致に努めていく。

代表質問

せい かい かい
政 和 会



質問者 **高橋 克己** 議員
たか はし かつ み

- ・第2次総合振興計画後期基本計画について
- ・温泉施設について
- ・市が所有する温泉井について
- ・防災対策について
- ・デジタル化に向けて
- ・湯沢駅東西自由通路の有効利用について

湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。



質問 高齢化が進行し、公共交通、買い物、雪対策と市民への負担が大きくなってきている。今後の対応について伺う。

答弁 地域づくり支援や担い手育成、地域福祉の推進、若者の定住支援や産業活動の持続化など、地域の活力を維持できるような施策に取り組んでいく。

質問 高齢などによる運転免許の返納者の増加にどのように対応していくか伺う。

答弁 公共交通の充実・維持とともに、市内2地区をモデル地区とし、地域で公共交通を運営する形態を検討していく。

質問 地域おこし協力隊の活動が分かりづらい。積極的に活動状況を発信すべきと考えるが。

答弁 市民に理解と認識を得ら

れるように、より効果的な情報発信について、受け入れ担当課や関連課所と連携し、さらに充実を図っていく。

質問 市が運営している緑風荘、ほっと館の利用者数、市内で日帰り温泉に対応している民間施設の数と利用者数を伺う。

答弁 令和2年度実績として両施設合わせて約7万4千人、民間施設は21カ所、今年度の利用者数は9631人である。

質問 両施設は年間約4千万円以上の予算が計上され、安い利用料金で運営されている。これは民業の圧迫ではないか。

答弁 全く無いとは言いがたいが、民間施設の大半は宿泊業がメインと捉えている。

質問 適正な利用料金にした上

で、市民はマイナンバーカードの提示で、両施設を含む全ての温泉施設で料金の半額補助を受けられる制度を設け、収益が上がるようにすれば、施設の譲渡先も見つかるのではないか。

答弁 国を挙げて対応しているマイナンバーカードの普及のほか、市の保養施設の有効活用も含め検討したい。

質問 3年ほど前にも井戸を整備しているが、令和4年度予算にも温泉井の関連予算が計上されている。事業内容を伺う。

答弁 小安地区の源泉2系統のうち、1系統に不具合が生じたため、今年度は新たに井戸を掘削し、令和4年度は配管工事などを計画している。

質問 本市の温泉使用料は1カ

月5500円である。他市町村の使用料と比較しても見直しは必要と考えるが。

答弁 メンテナンス、電気料など経常的コストも掛かっているため、現料金の3倍程度の中で改定を考えている。

質問 災害に備えた物資の備蓄状況について伺う。

答弁 本庁舎や各支所、指定避難所など15カ所に分散配置している。主食、飲料水、毛布、トイレ用品、発電機など19品目のほか、感染症対策用品などを備蓄している。

質問 防災無線の難聴地域などが指摘されているが、今後の対応について伺う。

答弁 設備の調整のほか、電話自動応答ダイヤル、市ホームページ、LINEなど放送後も内容を確認できるように防災無線を補完するシステムを導入した。今後も体制整備に努める。

質問 地域自主防災組織の設立が進められているが、今後の方向性について伺う。

答弁 現在、34組織を認定して

代表質問

おり、組織率は市内全世帯数に
対して34・2%である。今年度
末までの目標を35%とし、研修
会の開催、事務支援や防災訓練
への助言など積極的に支援して
いく。

質問 全市民を対象とした防災
訓練の必要性がある。また、高
齢者にも対応した訓練が必要と
考えるが。

答弁 地域住民及び防災関係機
関と連携しながら、全市民を対
象とした総合的訓練につなげた
い。

質問 昨年、当局よりキャッ
シュレス支援事業が提出された
が、今後、コロナの収束を視野
に、再度キャッシュレス化の推
進を図る考えがないか伺う。

答弁 キャッシュレス支援事業
は有効な手段の一つと考えてい
るが、昨年提案した際の課題を
解決するため、関係団体と協議
しながら進めていきたい。

質問 湯沢駅東西自由通路を有
効利用するため、学校統合など
で余剰となったピアノを設置し
て、音楽のまちを内外に発信で

きないか伺う。

答弁 各地で賑わい創出や街づ
くりで成果を上げていることは



湯沢政策研究会
湯沢市議会議員 豪 大山

承知している。音楽のまちをア
ピールできるピアノの設置場所
について、既存の文化施設を含

湯沢駅周辺複合施設整備基本計画について
企業誘致について

め可能性を検討していく。

質問 導入が予定される図書館
機能の規模について伺う。

答弁 市民の学習及び情報収集
の場、地域の歴史など調査研究
や課題解決支援を通じた知の拠
点として、一般開架室や児童開
架室、読書室、資料室、開架
書庫などを想定し、面積は約
985平方メートル、蔵書冊数
は最大で16万冊を予定してい
る。

質問 蔵書の規模はどのよう
に設定されたか。

答弁 図書館についての協議に
おいて、計画的に蔵書を増やす
べくはじき出した数字である。

質問 民間活力導入の可能性調
査の経過及び結果を伺う。

答弁 3段階の調査を行い、31
社から意向を伺っている。全体
的な傾向として、複合施設の整
備や管理運営を一括で請け負う
ことに関しては積極的だが、民
間収益施設の誘致は、事業対象
地の採算性の観点から消極的で
ある。引き続き市内外の事業者
から幅広く意見を伺う。

質問 データセンターの地方拠
点整備事業について伺う。

答弁 現在、実行可能性調査の
公募準備段階で、地熱発電所の
ある本市は、他地域よりも有利

な状況である。先般、県内で誘
致を検討している本市を含む13
自治体が経済産業省と意見交換
を行った。引き続き情報収集を
図りながら取り組みたい。

質問 今後の動き、調査費用の
予算化は。

答弁 国では費用の補助率2
分の1が進められるようであ
る。地熱という再生可能エネル
ギー、他の自治体に先駆けた強
みを生かし進めたい。国の情報
を収集しながら手を挙げていき
たい。

湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。

第1回（3月）定例会

一般質問

一般質問

3月3、4日に開かれた本会議では、7人が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

 各議員の一般質問の様子をYouTube動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
3月3日	兼子 正寛 (一括)	◇産業振興について ◇人口減少・少子高齢化対策について ◇新型コロナウイルス感染症対策について	P.13
	小田嶋秋一 (分割)	◇今年度の除排雪の現状と克雪対策について ◇ゆざわジオパークについて ◇学校教育におけるICTの活用について	
	佐藤 愛子 (一括)	◇安心・安全に生活できる防災・福祉について ◇市道荻生田南1号線について ◇新入学児童の入学準備支援について	P.14
	加藤 昭嗣 (分割)	◇産業振興について ◇新型コロナウイルス感染症への対応について ◇教育について	
3月4日	柏原 久寿 (一括)	◇農業政策について ◇漬物生産者への支援について ◇施策満足度について	P.15
	高橋 肇 (一括)	◇デジタル田園都市構想に関する取組の推進について ◇地球温暖化対策について ◇一人暮らし高齢者等の見守りと認知症支援について ◇道の駅おがち「小町の郷」周辺整備基本計画について	
	佐藤 勝 (分割)	◇コロナ禍における対応について ◇令和3年度の市道の除排雪について ◇第2次湯沢市総合振興計画後期基本計画について	P.16



※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

一般質問

◆産業振興について

質問 コロナ禍における事業者支援と市内経済の活性化について伺う。

答弁 コロナに対する支援策は、国や県の施策に合わせた形で今後状況を見ながら適時に対応していく。また、地域経済全体の回復に向けた事業を展開し、市内経済の活性化を図っていく。

質問 小安峡温泉地域活性化に向けた取組について伺う。

答弁 市内の周遊観光の促進に向けたPRを強化し、長期滞在による地域経済の活性化に向けて観光資源を活用したアクティビティの開発やイベントなどを計画している。

質問 今後の森林整備と木材産業振興の取組について伺う。

答弁 経営管理権集積計画を策定し計画的に整備を進め、林業の成長産業化と適切な森林管理の両立を図る。また、林業振興を推進し、森林資源を次世代へ引き継げるよう造林の促進を図っていく。地域産材活用木材住宅建築促進事業補助金について

は、広く市民の皆さまに使用していただけるよう制度の見直しを行っていく。

◆人口減少・少子高齢化対策について

質問 若者への未来投資として、19歳から24歳までの学生に対する医療費助成や入院費助成など、福祉医療制度の拡充について伺う。

答弁 少子高齢化対策については、さまざまな角度から対応していく必要があると認識している。福祉医療制度については、10月以降の診療分からは18歳まで拡充していく。24歳までの拡充については、先進事例なども把握しながら今後展開していきたい、と考えている。



かねこ まさひろ 議員



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆今年度の除排雪の現状と
克雪対策について

質問 空き家等からの落雪の情報共有について伺う。

答弁 関係課で現地確認し、通行に支障があるような場合はバリケードを設置するなどして対応している。

質問 除排雪コールセンターの創設ができないのか伺う。

答弁 現地で立ち会って対応しなければならぬことが多いため、これまでどおり市が直接対応したほうが効率的であると考えている。

質問 運転手付きダンプトラック、ローダーを整備し、市内の各団体へ無償貸し出しできないのか伺う。

答弁 県内の事例などを参照しながら今後検討していく。

◆ゆざわジオパークについて

質問 世界ジオパークへの認定を目指す上で市内の各観光ガイドの会との連携をもっと活発にできないか伺う。

答弁 市内にある5つの観光ガイドの会全てが湯沢市ジオパーク推進協議会の構成員となって

おり、協議会のガイド部会を通じて、各ガイドの会との連携を深めている。

◆学校教育におけるICTの活用について

質問 コロナ禍や災害など非常時のICT活用状況について伺う。

答弁 今後大規模な一斉臨時休業などがあつた場合は、児童・生徒がパソコン端末を持ち帰って活用することを想定し、準備を整えている。

質問 定期的な在宅授業の実施についての考えを伺う。

答弁 学校の授業の基本は対面授業であると考えている。大規模な一斉臨時休業などがない限り、在宅授業を実施する予定はない。



おだしましゅういち 議員



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

一般質問

◆安心・安全に生活できる
防災・福祉について

質問 一人暮らしや高齢者世帯の見守りに関する対策は。

答弁 民生児童委員による見守りのほか、企業と包括連携協定を結び、高齢者の見守りや異変発見時の市への通報などに協力していただく体制を整えている。

◆一人暮らしや高齢者世帯の
安否確認について

質問 安否確認は定期的に行われているのか。また、どのような方法で確認しているのか。

答弁 民生児童委員や介護サービスなどの事業者に対し、声掛けや見守りの依頼、市で行うサービスなどの周知、見守りが必要な世帯の情報提供をお願いしている。ふれあい安心電話などの市のサービスを活用いただくとともに、家族や地域の方々、民間事業者にも協力いただき、見守り体制の強化に努めていく。

◆防災行政無線の聞きづらさ
改善対策について

質問 聞きづらさの改善に向け、対策を行っているのか伺う。

答弁 親局設備内の調整やスピーカー細部の調整、話すスピード、声の大きさなどについて改善してきたが、今後も放送を重ねながら適宜調整を進めていく。

いく。

質問 聞こえない地域に対して、鉄塔を増やすのか。または戸別受信機にするのか伺う。

答弁 改めて鉄塔を建ててスピーカーを設置することは考えていない。戸別受信機は現在どうしても音が届かない世帯などに貸与しているが、その他の理由により、どうしても必要な世帯については、今後検討していきたい。

◆市道荻生田南1号線について

質問 市道の整備について、これまで地域住民から多くの要望が寄せられているが、市としての対応は。

答弁 平成24年度から2力年で防塵舗装を実施し、その後は路面の損傷状況を確認しながら舗装補修を行っている。今後路面の確認や維持補修を行い、安全な通行確保に努めていく。



さとう あいこ
佐藤 愛子 議員

◆産業振興について

質問 地場産業の保護や後継者の育成の観点から、本市独自のマイスター（職人）表彰制度の創設を再度検討すべきでは。

答弁 3年前に議員から同様の質問を受け検討したが、漆器やこけし、清酒は県や組合などで独自の表彰制度があり、稲庭うどんも資格制度の導入が検討されている。その他の産業については、それらを補完する形で市独自の制度を今後も検討していきたい。

◆新型コロナウイルス感染症
への対応について

質問 3回目のワクチン接種について、メーカーの入荷配分と接種の希望が一方に偏った場合の対応は。

答弁 65歳以上の方についてはファイザーとモデルナが約半分の配分見込みで、一般の方については国からまだ連絡がない。現状ではファイザーの希望が多く、接種を待つ方もいると思うが、徐々にモデルナも埋まってきており、おおむね順調である。

◆市役所内でクラスター

質問 市役所内でクラスターが発生した場合の対応とマニュアルの策定について伺う。

答弁 庁舎の出入り口や市民ロビー、会議室の利用を制限し、市民サービスに大きな影響が出ないよう安全な場所に臨時窓口を設置する。最低限の市民サービスが維持できるように、対応マニュアルを整備している。

◆教育について

質問 稲川小学校の通学路における、危険箇所への安全対策は。

答弁 要望があった12箇所については、国、県、市、警察と学校関係者で合同点検をしており、順次対応している。今後も毎年通学路安全推進会議を開催し、随時対応していく。



かとう しょうし
加藤 昭嗣 議員

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

一般質問

◆農業政策について

質問 次期作営農継続支援事業の取組について伺う。

答弁 産地間競争に打ち勝てる米の生産や価格変動に備えた補償制度への加入促進、園芸品目などへの作目転換など、今後の営農継続を支援していく。

質問 酒米流通対策協議会の直近の活動状況などを伺う。

答弁 酒米産地としての生き残りに向け、品質向上に重点を置き柔軟に対応していく。JAC（まちや主食集荷組合）がそれぞれの特色や戦略を生かした活動を支援し、需要拡大を目指す。

質問 今後の水田活用の直接支払交付金に対する所感を伺う。

答弁 制度などの変更が想定される中、内容を精査し、関係団体と連携しながら、農家の所得向上に向け交付金を有効活用できように取り組む。

◆漬物生産者への支援について

質問 食品衛生法の改正に対応し、生産活動を継続するための本市の支援策について伺う。

答弁 県で支援策を検討している

ことから、動向を注視し、法改正が定める期間までに体制を整うよう、市としても必要な支援策を講じていく。

◆施策満足度について

質問 施策別の総合評価、重要度順位の所感と、政策立案、予算案などへの反映について伺う。

答弁 子育てや福祉事業など、予算が充実し市民の共感が得られたものは評価が高く、目標達成に至らない産業労働関係施策の評価が低くなっている。

湯沢市総合振興計画のKPI達成状況を元に予算事業の総合評価を行い、庁内での情報共有を図り、新規事業の立案や既存事業の見直しの参考になっている。



かしわばら ひさし 柏原 久寿 議員



湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

◆デジタル田園都市構想に関する取組の推進について

質問 「デジタル田園都市ゆざわ」の実現は市民の暮らしやすさ向上に寄与すると考えるが。

答弁 デジタル技術の活用は、行政サービスの提供のみならず、日常における各種課題の解決にも期待されており、暮らしやすい市民生活の実現に有効なツールであると確認している。

◆地球温暖化対策について

質問 地球温暖化対策に対して今後どのような姿勢で取り組むのか伺う。

答弁 市民及び事業者を対象とし、地球温暖化防止に関する啓発事業の実施や、電気自動車などのインフラ整備、公用車の一部を電気自動車などに更新し低炭素化を図り、早い時期にゼロカーボンシティ宣言を行いたいと考えている。

◆一人暮らし高齢者等の見守りと認知症支援について

質問 電球の点灯情報で一人暮らしの高齢者などを見守り支援する「見守り電球」の活用が



たかはし はじめ 高橋 肇 議員

できないか伺う。

答弁 高齢者などの見守り

には、それぞれの家庭、高齢者の状態、生活スタイルや環境の違いがあり、最適と思われる見守り方法を今後も提案していきたい。

◆道の駅おがち「小町の郷」周辺整備基本計画について

質問 本市の取り組み体制及び実施に当たり、民意をどのように反映させていくのか伺う。

答弁 計画実施に当たり、副市長を中心に部長級職員で構成する会議体で庁内調整を図る。民意については、道の駅おがち利用促進検討会に代わる新たな会議体を立ち上げ、ご意見をいただきながら実施していきたい。



湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

一般質問

◆コロナ禍における対応について

質問 小・中学校の臨時休業等に伴う授業時間数の確保等の対応について伺う。

答弁 各校においては無理のない教育課程を編成し、余裕を持って授業を進めている。今後授業時数が不足した場合は、長期休業中に授業日を設け対応する。

◆令和3年度の市道の除排雪について

質問 今年度の除排雪作業に関する評価について伺う。

答弁 1月25日から2月7日までの短期間で急激な降雪に見舞われたため、雪害情報連絡室を設置し、その後、雪害対策警戒部に改組して、危険箇所のパトロールなど対応を強化した。降雪による通行障害は発生しておらず、苦情件数も近年の平均と比較して半分以下の状況であり、今年度の除排雪作業については比較的良好であると評価している。

質問 本市において除排雪作業は重要課題であるが、今後どのような体制の構築が必要であると認識しているか伺う。



答弁 除雪オペレーターの高齢化や若手の人材不足が課題であり、一定の除雪水準を保つため、魅力ある就労環境の整備と人材の確保が必要である

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を
ご覧いただけます。

と考える。

◆第2次湯沢市総合振興計画後期基本計画について

質問 未来投資型人材育成事業における奨学金返還助成について、Uターン学生に対して一定の条件のもと全額返還免除とといった大胆な支援はできないか。

答弁 奨学金の返還については全額助成も検討したが、財源部分で厳しいと判断し、まずは県と合わせて助成期間を延長することとしており、今後も検討していきたい。

令和4年2月臨時会概要

2月2日に臨時会が開催され、一般会計補正予算について審議が行われ、原案どおり可決しました。

○提出議案：委員会審査（1件）

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和3年度湯沢市一般会計補正予算（第10号）	予算決算	原案可決

◆ 補正予算の事業 ◆

- ▽住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業（福祉課） 6億7,676万7千円
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、令和3年度住民税非課税世帯などに対して、1世帯あたり10万円を支給する経費
- ▽高齢者等雪対策事業（長寿福祉課） 418万8千円
利用世帯及び登録業者ともに増加したことにより不足が見込まれる委託料の追加
- ▽施設型給付事業（子ども未来課） 529万5千円
保育士・幼稚園教諭などの処遇改善に係る経費
- ▽放課後児童健全育成事業（子ども未来課） 76万円
放課後児童支援員などの処遇改善に係る経費

ロシアのウクライナ 侵攻を非難する決議 について

(令和4年3月18日)

令和4年3月18日開催の本会議において「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を全会一致により可決しました。

ロシアのウクライナ侵攻を 非難する決議

本年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、武力の行使を禁ずる国際法及び国連憲章に違反し、国際社会の平和と安全を著しく損ない、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙である。

ウクライナ国内においては、子どもを含めた多くの人命が奪われており、このような行為は断じて容認することができない。

よって、本市議会は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し強く非難するとともに、ロシア軍が即時に完全かつ無条件で撤退するよう強く求める。

政府においては、関係各国及び国際社会との緊密な連携の下、厳格かつ適切に対応されるよう求める。

以上、決議する。

令和4年3月18日
湯沢市議会



▲議員を代表し提案理由を説明する沓澤正雄議員

感染症対策に 関する緊急要望



3月11日、渡部議長と沓澤副議長が佐藤市長を訪問し、県内の新型コロナウイルス感染者数の高止まりや、湯沢保健所管内における感染者数の増加により市民の不安が高まっているとして、さらなる感染予防対策の実施や医療提供体制の充実、ワクチンの追加接種への取り組みなど6項目について、緊急要望を行いました。

1. ワクチンの3回目接種について、2回目完了後の間隔は6カ月を基準とし、可能な限りの前倒しを。また、ワクチンの交互接種の有効性や安全性について、科学的知見に基づく正確でわかりやすい情報発信で、市民の不安解消を。
2. 小児接種（5歳以上11歳以下のワクチン接種）について、保護者と子どもが十分に理解し判断ができるよう、ワクチンの有効性や安全性、副反応などの情報提供、相談体制の確立と接種時に万全な対応を。
3. 視覚・聴覚障がい、発語障がい、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と会場での円滑な接種について合理的配慮を。
4. 学校などでの感染が相次いでいることから、学習機会の確保への留意とオンライン授業などの対応の準備、心のケアなどを行うとともに、保護者への支援策「小学校休業等対応助成金」活用の周知の徹底を。
5. 自宅療養への対応は、不安などの解消のほか療養中の食事・生活必需品が不足しないよう、県と連携した支援体制の整備強化を。
6. 感染者や医療事務者へのさまざまな差別防止のため、啓発活動、ケア体制の強化など、関係機関と連携し検討するとともに、差別解消に向けた取り組みを。

総括質疑

3月8日、令和4年度当初予算に対する予算決算常任委員会の総括質疑が行われました。

今回は、湯和会・公明2人、政和会2人、湯沢政策研究会1人の計5人が会派を代表して質疑を行い、令和4年度の各予算の内容についていただきました。

ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。



「湯和会・公明」
高橋 健 委員



■生活バス路線運行対策 事業について

質疑 湯沢市地域公共交通活性化協議会（以下協議会）と地域検討会の開催内容と成果目標、今後の取り組みを伺う。

答弁 協議会では、乗合タクシーの運行ダイヤ・経路の検討や承認を行っており、目標設定はしていない。地域検討会は地域住民主体の交通システムを検討するために開催しており、市民の声を大切に、地域特性を考慮しながら慎重に検討を行っている。

■道の駅おがち「小町の郷」 周辺整備事業について

質疑 地域住民や関係団体との合意形成は図れているのか伺う。

答弁 道の駅周辺の町内会代表者宅などの個別訪問や、地域住民への説明会を行なっている。

○学校用パソコン 更新事業について

質疑 GIGAスクール構想と本事業の今後の関連を伺う。

答弁 本市では高速インターネット、校内LAN、一人一台端末の整備を終えている。今後、パソコンの持ち帰り学習の実証試験を含め、学校・保護者と運用方法を協議し、より最適な学びの実現を目指す。

「湯和会・公明」
高橋 達 委員



■克雪住宅推進事業について

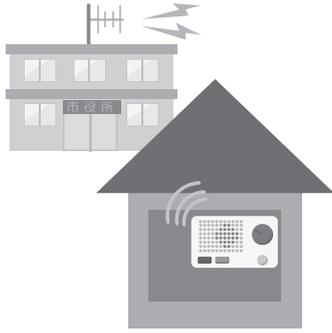
質疑 制度設計に当たった経緯について伺う。

答弁 令和3年3月に策定した湯沢市住生活基本計画に基づき、近隣自治体の類似事業を参考に設計した。

■広報紙発行事業について

質疑 課題や問題点がないのか伺う。

総括質疑



【答弁】 一定の効果を得ているものと判断している。情報を整理し、市民目線で適切に届けることが重要であり、今後も広報紙に限らず市民が求める情報発信に努めていきたい。

■保健事業推進事業について

【質疑】 コロナ禍における住民健診の受診率向上については、健康づくり推進員の協力が欠かせないと思うが、見解を伺う。

【答弁】 市民の身近な所での活動を担っており、声掛けなどの協力を行っている。行っている。

■防災設備・備蓄品費について

【質疑】 防災行政無線の運用に当たり「聞こえない」などの問題解消に向けた予算はあるのか伺う。

【答弁】 保守点検業務での軽微な調整、戸別受信機を新たに設置する際の委託費などを予算計上している。

「政和会」
石川 隆一 委員



○次期作営農継続支援事業について

【質疑】 集荷団体などと販売契約している農家は補助対象だが、個人販売している農家は補助対象にならないのか。

【答弁】 集荷団体と契約していない農家であっても、米の出荷・販売を行う農家は助成対象とする。

○ビジネス支援センター事業について

【質疑】 相談者の売上向上などによる市税収入の効果や影響は。

【答弁】 売り上げ向上にはさまざまな要因があり、税収への反映を正確に測ることはできない。

【質疑】 事業継続の判断と評価の検証について伺う。

【答弁】 総合的に検証し、令和4年中に評価する。

○クーポン券発行団体等支援事業について

【質疑】 申請から交付までのプロセス

と完了後の報告について伺う。

【答弁】 短期間で交付決定し、概算払いとしたい。完了後は各店舗での売り上げの分かる資料を添付してもらおう。

「政和会」
沓澤 正雄 委員



○とことん山キャンプ場管理運営費について

【質疑】 土地借り上げ料について、2件の借り上げ面積と、借り上げ料金34万2千円の積算根拠を伺う。

【答弁】 土地借り上げ面積は、2件合わせて90・393アールである。

借り上げ料金の積算根拠として、平成3年契約時の買収単価が10アール当たり42万円であることから、借り上げ料金は買収単価の9%を見込み、42万円×9%＝3万7800円を基に算出した。

「湯沢政策研究会」
大山 豪 委員



○地球温暖化対策事業について

【質疑】 充電スポットなどを整備する事業に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てた理由を伺う。

【答弁】 直接的な感染症対策のみならず、経済対策など幅広く使え、国の脱炭素化などの方針に沿った、災害などの対策の一環として整備するためである。

○国民健康保険特別会計歳入について

【質疑】 今年10月の制度改正を見越した予算措置か。

【答弁】 令和3年10月末時点の実績から県における令和4年度の推計を基にしているため、加味していない。

所管事務調査報告 産業建設常任委員会

●1月26日水「コロナ禍における飲食店等への支援状況について」

●2月2日水「コロナ禍における飲食店等の経営状況について」

新型コロナウイルスの感染拡大により、年時から市内飲食店ではこれまで以上に予約のキャンセルや客足がほとんどない状況が続き、厳しい経営状況となっていることから、現在の新型コロナウイルス感染症の影響や飲食店などへの支援状況について所管事務調査を実施しました。

◎所管事務調査の内容

コロナ禍における飲食店などへの支援状況について、所管事務調査に先立ち行った市内飲食店経営者との意見交換では、コロナ収束の兆しが見えるまで、いったん店を休業し明かりを消したいのとことや、行政から直接休業要請をしてほしいこと、県から国へまん延防止等重点措置を要請してほしいこと、市の支援や給付はありがたいが、事業規模に応じた支援を検討してほしいなどの意見や要望がありました。

コロナ禍における飲食店等の経営状況については、これまで、市独自の事業者支援に関する感染症対策事業などの実施状況を基に、当局の説明を交えながら意見交換を行いました。当局からは、国や県の支援に加え、市の支援事業もある程度事業者へ届いていると考えられ、今後の施策として市が個別に支援するのではなく、商店街組合や地域の産業組合などが独自の商品券やクーポン券などを発行する事業に、市が消費喚起策として支援する案の説明を受けました。緊急の支援を求めている意見に関して、当局からは、来年度の当初予算編成作業を終えており、現段階で一時的な支援は難しいとの見解でありました。

飲食店などのダメージを受けている業種に対し、今後、早急に行わなければいけない支援策については、意見交換や協議を重ねながら、市民に寄り添って一緒に考えてまいります。

「飲食店等への事業継続のための緊急的な支援策を求める要望書」の提出について



▲渡部議長から佐藤市長へ要望書を提出



▲佐藤市長・東海林副市長に要望書の趣旨を説明

オミクロン株の感染拡大による第6波は、新規感染者数が減少に転じた地域でもそのスピードは緩やかで、影響が長期化するとの予測もあり、長引くコロナ禍においても今まで以上に厳しい経営環境となっています。

事業を続ける意欲の低下にともなわず、市内でも廃業を選ぶ事業者が出始めていることから、所管事務調査などの内容を踏まえて、この危機的状況を乗り越えて地域経済を維持していくため、次の項目について、2月28日(月)に市長へ要望書を提出しました。

要望事項

- ① 新型コロナウイルスの流行第6波により、大幅に売上の減少等の影響を受けている市内の飲食店をはじめ関連する事業者に対して、事業継続のための緊急的な支援策を講じること。

所管事務調査報告 教育民生常任委員会

・3月7日①「通学路の安全対策について」

令和3年9月24日に議長から教育長に提出した「通学路の安全対策を求める要望書」に対する当局の対応の確認と、令和4年2月14日に八面部落から議長に提出された「稲川小学校への安全・安心な通学環境整備に関する陳情書」の審査に当たり、駒形地区から稲川小学校への通学路における危険箇所を把握するため、3月7日に所管事務調査を行いました。調査に当たっては、当局担当者及び学校関係者から、スクールバスの乗車基準のほか、通学路や通学方法の決定に至るまでの過程や協議内容

などについて説明を受け、質疑応答を行いました。また、湯沢市通学路交通安全プログラムによる合同点検で指摘された危険箇所を中心に、安全確保のための環境整備状況などについて確認したほか、陳情者より陳情提出の経緯と内容について説明を受けました。

安全・安心な通学路の環境整備は、市内すべての小・中学校において、行政が一丸となって取り組むべき政策課題であり、所管する常任委員会として真摯に向き合い、解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

市ホームページ
教育民生常任委員会
「所管事務調査報告書」



▲当局担当者から説明を受ける



▲学校関係者から説明を受ける



▲通学路の現地調査を実施



▲陳情者から陳情の内容を伺う

稲川小学校・放課後児童クラブ
「いなかわキッズ」施設見学

3月22日、教育民生常任委員会では、令和4年度から稲川地域4小学校が統合し、新たにスタートする稲川小学校で、開校に向けて行われた改修工事の状況と、開校に向けて学校隣接地に新たにオープンする放課後児童クラブ「いなかわキッズ」を見学しました。小学校では、2階から1階へ移動した職員室や新設された教室などを確認し、いなかわキッズでは、ボルダリングなどの設備について当局担当者から説明を受けました。



▲改修工事の概要について説明を受ける



いなかわキッズ見学▶

動く!! チーム湯沢市議会

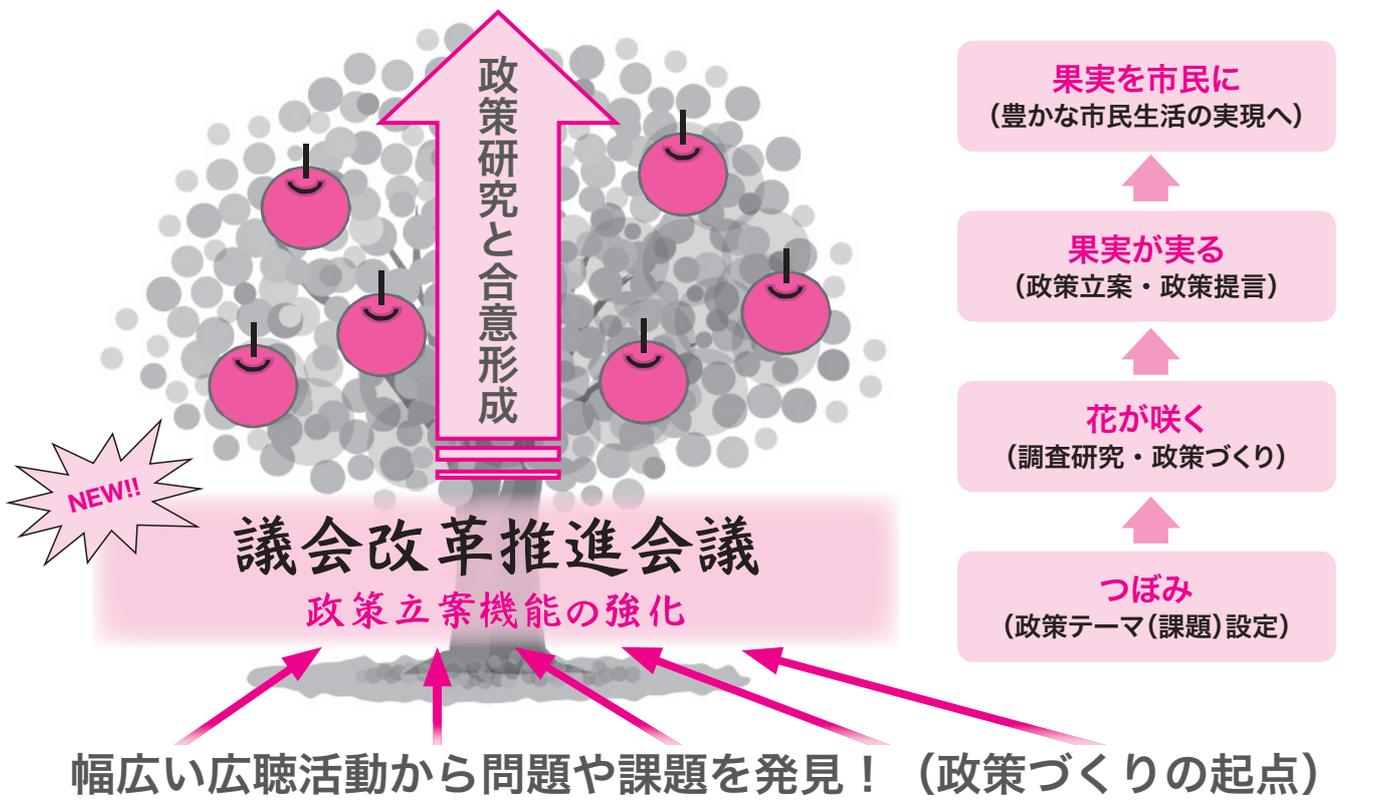


議会広聴活動の充実と議会改革及び政策立案等協議の活性化を図るため、令和4年第1回定例会において「湯沢市議会基本条例」及び「湯沢市議会会議規則」を改正し、「議会広報編集委員会」を「広報広聴委員会」に改め、新たな協議の場として「議会改革推進会議」を設置しました。



議会改革推進会議を中心とした政策形成のイメージ

議会としての政策立案・政策提言を積極的に実施



議員と語り合おう
「出張!!なんでも
意見交換会」
令和4年4月～
※詳細は次ページ

議員としゃべろう
マチトーク!!
令和4年7月～9月
※全4回開催予定

自分の思いを議場で発信
「ゆざわ市民
一日議会」
令和4年10月
※詳細は次号にて

常任委員会
所管事務調査
会派の政務活動
議員活動

請願
陳情

～広聴機能を強化～ 市民の皆さまの声を広く伺います！



広報広聴委員会

市民と議会との多様な意見交換の場を拡充

教えて！
広報広聴委員長



何が変わったの？

これまで議会広報編集委員会
が担ってきた市議会だよりの編
集のほか、新たに実施する市民
と議会との意見交換会(広聴活
動)を担当します。市民の皆さま
との意見交換の場を多様に設
け、ご意見や要望などを的確に
把握し、市政及び議会活動に反
映させてまいります。



寺田純三

小田嶋秋一

高橋 達

佐藤 勝

【副委員長】佐藤愛子

【委員長】藤田健志

皆さまのもとへ伺います！

開催団体募集中！

～議員と語り合おう～

出張!! なんでも意見交換会を開催します

目的

各種団体やグループなどを対象に、活動内容に沿ったテーマで議員と意見交換を行い、課題の共有や相互理解を深めるとともに、ご意見や要望などを議会活動に反映させ、政策提言などに生かします。

対象者

市内に所在する5名以上の市民等(市内に居住、滞在または通勤、通学する方)により構成され、5名以上で参加できる団体。

開催日時及び場所

申込書に記載された希望日時及び場所について、申込団体と調整のうえ決定します。なお、開催時間は原則として1時間30分以内とさせていただきます。

申込方法及び問い合わせ先

開催を申し込もうとする団体は、「出張!! なんでも意見交換会」開催申込書に必要事項をご記入のうえ、開催希望日の3週間前までにお申し込みください。

【申込及び問い合わせ先】湯沢市議会事務局(申し込みは郵送、FAX、Eメール、持参のいずれか)

【住所】〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号

【TEL】0183-73-2168 【FAX】0183-72-3780

【Eメール】gikai@city.yuzawa.lg.jp

申込書のダウン
ロードはこちら▶



出席議員

「出張!! なんでも意見交換会」に出席する議員は、申込書に記載されたテーマに関係する常任委員会、議会運営委員会に所属する議員です。

注意事項

- ①報道機関に対して、あらかじめテーマなどの情報提供と当日の撮影を許可する場合がありますので、ご了承のうえお申し込みください。
- ②意見交換会の様子などを写真撮影し、市議会だよりなどに掲載する場合があります。
- ③テーマの内容や開催時期によってはお受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

議会のうごき

1月・2月・3月

- 1月5日 1月期 月イチ😊オンラインミーティング、全員協議会（オンライン）
- 1月18日 第5回議会改革推進研修会、議会広報編集委員会
- 1月26日 全員協議会、産業建設常任委員会所管事務調査
- 1月31日 議会運営委員会
- 2月1日 2月期 月イチ😊オンラインミーティング
- 2月2日 2月臨時会、予算決算常任委員会（全体会）、産業建設常任委員会所管事務調査、議会広報編集委員会
- 2月9日 全員協議会
- 2月14日 議会広報編集委員会（オンライン）
- 2月16日 議会運営委員会
- 2月22日 議員研修会（議会活動における情報発信について）
- 2月24日 本会議（議案上程、提案理由説明）、産業建設常任委員会、議会広報編集委員会
- 2月28日 本会議（質疑・付託・採決）、予算決算（全体会）・産業建設常任委員会、全員協議会
- 3月1日 3月期 月イチ😊オンラインミーティング
- 3月2日 本会議（代表質問）
- 3月3日 本会議（一般質問）
- 3月4日 本会議（一般質問）
- 3月7日 教育民生常任委員会所管事務調査
- 3月8日 予算決算常任委員会総括質疑（全体会）、議会運営委員会、議会広報編集委員会
- 3月9日 予算決算常任委員会当初予算審査（各分科会）、会派代表者会議
- 3月10日 総務財政・教育民生・産業建設常任委員会
- 3月11日 全員協議会
- 3月15日 予算決算常任委員会（全体会）、議会研修会（ゆざわBizについて）
- 3月17日 議会運営委員会
- 3月18日 本会議（採決）、予算決算（全体会）・総務財政常任委員会、全員協議会

6月定例会の日程（予定）

6月6日	本会議 開会（議案上程、提案理由説明）
6月8日	本会議（議案質疑・付託、請願・陳情付託）
6月13日	本会議 一般質問
6月14日	本会議 一般質問
6月15日	（一般質問 予備日）
6月16日	予算決算常任委員会（分科会）、常任委員会
6月17日	（常任委員会 予備日）
6月21日	予算決算常任委員会（全体会）
6月24日	本会議（採決） 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の締切は5月27日（金）午後5時

■議会傍聴

●本会議や委員会は当日の受付で、どなたでも傍聴することができます。開催当日、市役所本庁舎4階の議会事務局窓口までお越しください。

■議会中継

●本会議の様様をインターネット配信（ライブ・録画）しています。湯沢市議会ユーチューブチャンネルをご覧ください。また、開催当日は、市役所本庁舎1階市民ロビー、稲川・皆瀬総合支所ロビー、雄勝文化会館（オービオン）に設置したテレビモニターでもご覧になれます。

 秋田県湯沢市議会
ユーチューブチャンネル



議長交際費(1月・2月・3月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
祝金		0	0
寸志		0	0
会費	湯沢商工会議所新年祝賀会 ほか	3	16,000
弔慰	湯沢市議会議員母死去葬儀供花代 ほか	2	30,000
見舞		0	0
賛助	第52回川連漆器総合展示会議長賞（日本酒）代	1	3,920
接遇		0	0
印刷	正議長名刺印刷代	1	3,300
合計		7	53,220

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

編集後記

本市でも新型コロナウイルス感染者数が増加しています。感染された皆さまとそのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。祈りいたします。

4月は新たなスタートの季節。本市では、稲川地域4小学校が統合した「稲川小学校」の開校、表紙で紹介した「いなかわキッズ」の開所などがありました。

議会では「議会広報編集委員会」が「広報広聴委員会」に替わりました。議会改革推進の一つとして「広聴活動」をさらに強化し、市民の皆さまと市政の課題やまちづくりなどについて積極的に意見交換を行う新たな取り組みがスタートします。これからの「変革!! 動く議会」にご期待ください。

（佐藤愛子 記）

広報広聴委員会

- 委員長 藤田 健志
- 副委員長 佐藤 愛子
- 委員 佐藤 純
- 委員 寺田 勝二
- 委員 小田嶋 秋一
- 委員 高橋 達